

200カイリ水域内漁業資源総合調査事業－X (大型クラゲ出現状況調査)

(有害生物出現調査並びに有害生物出現情報収集・解析及び情報提供委託)

榑 純一郎

【目 的】

我が国周辺海域における大型クラゲ出現状況を調査船による洋上調査，漁船や市場での聞き取り調査等で迅速に把握し，総合的にそれらのデータを解析して大型クラゲの分布に関する情報を広く漁業者等に配信することを目的とする。

【方 法】

1 洋上調査

調査船「くろしお」により下記の日程で，調査ラインA（別図，表1）での目視調査，一般海洋観測を行った。

調査日：令和元年9月12日

2 陸上調査

県内漁協や漁業者に対して漁況状況と併せて聞き取り調査を行った。

【結 果】

1 洋上調査

大型クラゲは確認されなかった。

9月12日の表層水温は28.74～29.44℃，表層塩分は33.02～33.77であった。

2 陸上調査

大型クラゲの発生の報告は無かった。

調査期間内の洋上調査結果と矛盾しない結果であった。

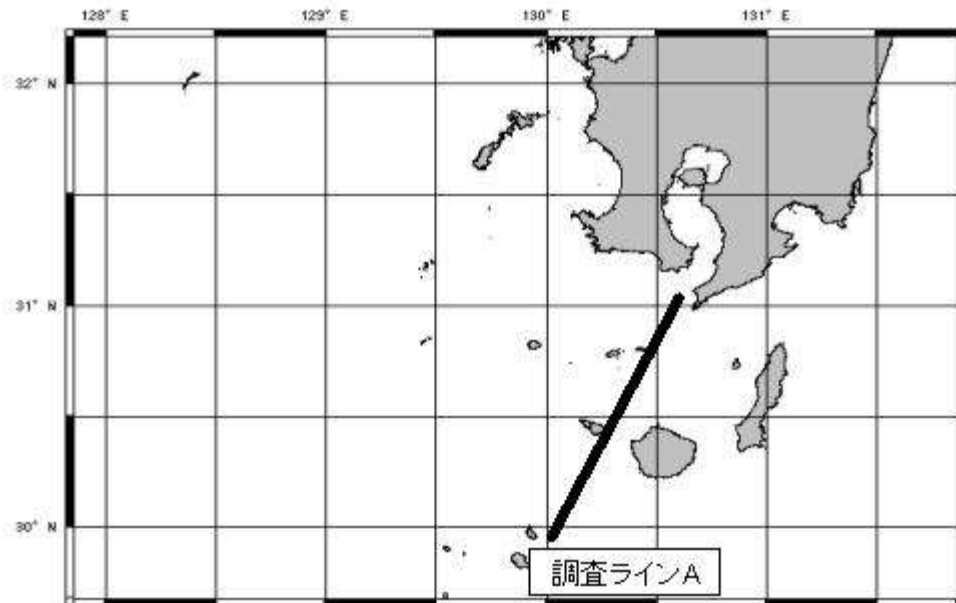


図1 大型クラゲ調査船目視調査ライン

※調査ラインA (北緯31° 06′ 東経130° 31.5′ と北緯30° 00′ 東経130° 10′ を結ぶ線)

表1 各調査ラインと定点の位置

調査ライン	定点名	緯度	経度	水深m	備考
A	ST1	31° 06.0′ N	130° 31.5′	250	
	ST2	30° 52.0′ N	130° 28.0′	260	
	ST3	30° 39.0′ N	130° 21.5′	350	
	ST4	30° 24.0′ N	130° 18.0′	590	
	ST5	30° 00.0′ N	130° 10.0′	615	